



4 〈not only A but (also) B〉

51 **Not only I but (also) you** should apologize to Mr. Fujiki. 1005

私だけでなくあなたも藤木先生に謝罪しなくてはならない。

52 Our price includes **not only the consumption tax but (also) the shipping and handling.** 1006

私どもの価格には消費税だけではなく配送料も含まれております。

53 He can speak **not only English but (also) Chinese.** 1007

彼は英語だけでなく、中国語も話せる。

〈**not only A but (also) B**〉で「A だけでなく B も」という意味を表し、only 以外にも just / simply / merely などがくることがある。〈not only A but (also) B〉では、当然内容の力点は B に置かれ、主語になる場合、**述語動詞は B に一致する**。〈B as well as A〉に書き換えることもできる(A と B の順序が逆になることに注意)。この場合も、**述語動詞は B に一致させる**。

51' ≡ You **as well as I** should apologize to Mr. Fujiki.

52' ≡ Our price includes **the shipping and handling as well as the consumption tax.**

53' ≡ He can speak Chinese **as well as** [besides, in addition to] English.

類例 I **not only forgot to take my umbrella with me but also left my smartphone at the coffee shop.**

私は傘を持ってくるのを忘ただけでなく、喫茶店にスマホを置いてきてしまった。

※文頭に **Not only that**, と置いて、「それだけでなく」という追加情報を示す用法もある。

I had my purse stolen. **Not only that**, my passport was taken, too.
財布をすられた。それだけでなく、パスポートもやられた。

6 〈命令文, and ...〉, 〈命令文, or ...〉

56 Study hard, **and** you'll succeed.

1010

一所懸命勉強しろ。そうすれば合格するだろう。

57 Study hard, **or** you'll fail. 一所懸命勉強しろ。さもないと不合格になるぞ。1011

〈命令文, **and** ...〉の場合は「～しなさい、そうすれば…」(従った場合の結果)

〈命令文, **or** ...〉の場合は「～しなさい、そうしないと…」(従わなかった場合の結果)

という意味になる。〈命令文, **or** ...〉を強調するときは **or else** とする。

※厳密に命令文でなくても、命令や指示を表す文の後でもこの用法で **and** / **or** が用いられることがある。

You should be patient, **or else** people will laugh at you.

大人しくしなさい。さもないと笑われるよ。

〈命令文, **and** ...〉は **if** 節に、〈命令文, **or** ...〉は **if ... not** 節に書き換えても同様の意味を表せる。**or** の代わりに **otherwise** を使うこともできる。

56' ≡ **If** you study hard, you'll succeed.

57' ≡ **If** you **don't** study hard, you'll fail.

57' ≡ Study hard. **Otherwise**, you'll fail.

類例 Practice hard every day, **and** you'll be able to win the game.

毎日一所懸命練習しなさい。そうすれば試合に勝てるでしょう。

Walk fast, **or** you will miss the train.

速く歩きなさい。さもないと列車に乗り遅れますよ。

Keep your hands off me, **or** I'll call the police.

手を放して、さもないと警察を呼びますよ。

Don't scratch the mosquito bite, **or** it'll get swollen.

蚊に食われたところは掻かないでください。そうしないと、腫れますよ。

類例 **In case** *traffic is heavy*, I may be late. (≡ In case of heavy traffic, I may be late.) もし交通渋滞があれば遅刻するかもしれません。

【!】 in case 節内は未来のことでも現在形だが, 起こる可能性が低いと判断される場合, should や仮定法過去が使われることがある (→ p.347)。

Take an umbrella with you **in case** it **should** rain.

雨が降るといけないので, 傘を持っていきなさい。

【!】 関連して, just in case (万一のことを考えて), in any case (いずれにせよ) といった表現も覚えておくとい。

Fasten your seatbelt, **just in case**.

万が一の時のために, シートベルトを締めてください。

5 <suppose (supposing) (that) ...>, <provided (providing) (that) ...>

78 Suppose [Supposing] (that) you were the President of the United States, what would you do to bring peace to the world? 1032

あなたが合衆国大統領だったとしたら、世界平和をもたらすために何をしますか。

79 I will allow you to travel to Tokyo provided [providing] (that) you go with your big brother. 1033

お兄さんと一緒に行くのなら、あなたの東京旅行を許可しましょう。

<suppose [supposing] (that) ...> は《主に話》で「(仮に) …としたら」という仮定を表す。if 節と同様に、節の中の時制は直説法も仮定法も使われる。Suppose [Supposing] SV ... と独立節で使って「…してはどうだろう」という提案を表すこともできる。

Suppose [Supposing] we go out for lunch. お昼、外で食べませんか。

<provided [《よりくだけて》 providing] (that) ...> は「…という条件で」「もし…なら」という条件を示す。provide 「…を与える」から「…という条件が『与えられ』たら」という意味になっている。

【！】 「条件」を表す表現としては、ほかに on (the) condition (that) ... (…という条件付きで)がある。この場合、that 節の中の動詞は should を伴うか、原形(仮定法現在)を使用する。直説法が使われることもある。

I will work at your store on (the) condition that I be paid 1,200 yen an hour. 時給 1200 円という条件で、あなたの店で働きましょう。

【！】 関連して、以下のような関連表現も覚えておくとよい。

<granted that ...> (…だとしても) ←やはり grant 「…を与える」からできた表現。仮定法では使わない。

Granted that it is true, I still can't trust his words.

それが正しいとしても、それでも私は彼の言葉を信用することができない。

〔<granting that ...> という言い方もあるが《ややまれ》〕

<given that ...> (…と仮定して、…とすれば) ←これも give 「…を与える」からできた表現。

Given that the area of the square is 25cm², find the length of each side.

正方形の面積が 25 平方センチの場合、一辺の長さを求めなさい。

given は「…を考慮すると (= considering ...)」という意味で、前置詞扱い



が基本で、拡張的に (that) 節を従えて、接続詞的に使われる。

Given *his age*, he has been doing well. 年齢を考えると彼はよくやっている。

ここが Point! 条件・仮定を表す if 以外の表現と、節内で用いる動詞

いずれも if より《かたく》響くが、節内の動詞については以下のように整理しておこう

1) 直説法（条件を表すので will を使わず現在形が原則）

as long as / given (that) / provided (that) /
providing (that) / assuming (that)

You can use this room **as long as** you *don't make* much noise.

あまり物音を立てないでいるなら、この部屋を使ってもいいですよ。

Given (that) Momoka *is* only five years old, she can play the piano very well. 桃花がまだ 5 歳であることを考えれば、彼女はピアノをととても上手に弾く。

2) 直説法でも仮定法でも使えるもの

suppose [supposing] that : 直説法または仮定法過去

on (the) condition (that) : 直説法または仮定法現在（原形または should）

Suppose [Supposing] that you *stayed* in New York for a year, what would you like to do?

《主に話》ニューヨークで 1 年暮らすとしたら、何がしたいですか。

You can borrow up to five books **on (the) condition (that)** you *return* them within two weeks.

2 週間以内に返却するという条件で、本を 5 冊まで借りられます。



練習問題 10 : 以下の英文を日本語に訳しなさい

→ 解答 p.665

① Bring your medicine in case you get sick.

② You can use my bicycle as long as you get it back in 30 minutes.